

# 日本薬史学会 2014 年会（福岡）

会期： 2014 年 11 月 22 日（土） 10:00～17:40

場所： 九州大学医学部百年講堂中ホール3（福岡市東区馬出 3-1-1）

## — プログラム —

受付（9:30～）

開会の挨拶（10:00～10:10）

2014 年会の開催にあたって

2014 年会長 笹栗 俊之

演題 1～2（10:15～10:47）

【座長：大戸 茂弘】

1. 米国における薬剤師職能の変化

○赤木 佳寿子（一橋大学大学院 社会学研究科）

2. 大分県医学校病院（明治 12-22 年）薬局長五十川徹夫に関するメモ

○五位野 政彦（東京海道病院 薬剤科）

演題 3～4（10:49～11:21）

【座長：田中 宏幸】

3. 「石見銀山鼠取り」考察

○成田 研一（島根県薬剤師会 江津・邑智支部）

4. 創業時の「たなべや振出薬」と「黒川大和太掾藤原金永」の考察

○新開 利治、松本 和男（日本薬史学会員）

演題 5～6（11:23～11:55）

【座長：柳田 俊彦】

5. 歴史的病院の諸相

○石田 純郎（岡山大学 医学部）

6. 備中・備前での医薬に関する歴史

○五味田 裕（岡山大学病院名誉教授・客員研究員）

昼食・休憩（12:00～13:30）

日本薬史学会理事・評議員合同会議（12:10～13:10） 会議室 2

特別講演 1（13:30～14:00）

【座長：森元 聡】

演者：九州大学名誉教授・長崎国際大学薬学部 正山 征洋

演題：ボタニカルアートから見た薬の歴史

特別講演 2（14:00～15:00）

【座長：笹栗 俊之】

演者：国東市民病院 佐藤 裕

演題：北部九州出身の二人の医学者：賀来飛霞（本草学）と林洞海（薬理学）

休憩 (15:00~15:10)

演題 7~8 (15:10~15:42)

【座長：山本 郁男】

7. キニホフ『植物印葉図譜』の写本

○河村 典久 (中京大学 人工知能高等研究所、元金城学院大学)

8. 医薬品の一般名に関する考察 (3) : 酵素に作用する薬物の名称

○三澤 美和 (日本薬科大学 薬理学分野)

演題 9~10 (15:44~16:16)

【座長：宮路 天平】

9. 明治中期札幌の売薬広告—北海道毎日新聞明治 28 年新年号より—

○本間 克明 ((株) ファーマホールディング)

10. 明治前期における国産人参の輸出とその生産体制

○童 徳琴 (九州大学 東洋史学研究室)

演題 11~12 (16:18~16:50)

【座長：本間 克明】

11. 日向薬事始め (その 17) —日向における種痘の歴史—再考 (V) —若山健海著、嘉永西載「種痘人名録」について (2) —

○山本 郁男<sup>1)</sup>、岸 信行<sup>2,3)</sup>、高村 徳人<sup>2,4)</sup>、宇佐見 則行<sup>5)</sup>  
(前・九州保健福祉大学薬学部<sup>1)</sup>、九州保健福祉大学薬学部 QOL 研究機構<sup>2)</sup>、  
宮崎・日向・富高薬局<sup>3)</sup>、九州保健福祉大学薬学部<sup>4)</sup>、北陸大学薬学部<sup>5)</sup>)

12. Cannabinoid-based medicines の歴史と本邦における規制について

○宮路 天平 (東京大学大学院 医学系研究科 臨床試験データ管理学講座)

演題 13~14 (16:52~17:24)

【座長：三澤 美和】

13. 江戸期における蒸溜器について

○ヴォルフガング ミヒェル (九州大学名誉教授)

14. 内藤記念くすり博物館所蔵の中国・大明正徳年製の銘がある薬研の蛍光 X 線元素分析

○奥田 潤 (名城大学薬学部)、森田 宏 (内藤記念くすり博物館)

2015 年会 年会長 挨拶 (17:25~)

村岡 修 (日本薬史学会関西支部長)

閉会の挨拶 (17:35~)

2014 年会長 笹栗 俊之

懇親会 (18:00~) 会場：九州大学医学部百年講堂「カフェテリア」

薬史ツアー 日 時：2014 年 11 月 23 日 (日) 9:00~16:00 頃

集合時間：8 時 45 分

集合場所：九州大学馬出キャンパス

行 先：中富記念くすり博物館、吉野ヶ里歴史公園